

1 情勢報告

ミョウガ生産者の経営支援しています（JA津野山管内）



面談の様子

振興センターとJA津野山では、JA津野山管内の意欲あるミョウガ、ナス生産者を対象に、経営支援の取り組みの一つとして、経営目標設定のための面談を平成22年12月から行っています。

生産者が本年度の栽培状況を振り返り、問題と感じている事柄について情報提供、意見交換を行い、次年度の目標設定、問題解決に向けた課題設定を行う手助けを行っています。

面談が終わった生産者からは、「頑張ります」の声が聞かれました。今後も、年度末までに、面談による生産者の目標設定を支援します。

○JA土佐くろしおインゲン部会の現地検討会が開催されました



現地検討会の様子

JA土佐くろしおインゲン部会では、「まとまりのある園芸産地育成事業」にかかる現地検討会を中土佐町久礼地区と須崎市吾桑地区で開催し（1月12日）、27名の参加がありました。

それぞれ、篤農家は場の生育を見て栽培管理を確認し、JA営農指導課や振興センターからは、厳寒期の温度・灌水管理や施肥管理、摘葉などについて説明し、意見交換をしながら生産技術の習得を図りました。

第1回目の収穫ピーク後の摘葉後の圃場で実施したことから、参加者のこれからの管理の参考となり、摘葉の程度や施肥管理などについて、積極的な技術交換ができました。

今後も、篤農家・JAと連携して生育ステージに合わせた現地検討会を開催します。

JA津野山営農センターで簿記講習会が開催されました



講習の様子

津野町、梶原町では、担い手育成総合支援協議会が主催し、JA津野山営農指導員が講師となり、簿記講習会を開催しています。

22年度は、12月から3月まで、月1回を予定しています。

1月19日は、2名の認定農業者が、個別指導を受けました。

参加した認定農業者からは、新たに生産を開始した品目について、部門経理を行い、収支を見ていきたいといった意見が聞かれました。

今後も、振興センターは関係機関と連携し、記帳データを活用した経営改善に取り組む農家を支援していきます。

○JA土佐くろしおミョウガ部会の現地検討会が開催されました



現地検討会の様子

JA土佐くろしおミョウガ部会では、「まとまりのある園芸産地育成事業」にかかる第3回目のミョウガ現地検討会を管内の先陣を切って浦ノ内地区で開催しました（1月21日）。

収穫期を迎えた現地ほ場では、栽培終了時までを見通した管理計画がほ場主から紹介され、篤農家ならではの経営感覚と日頃の栽培管理の大切さを参加者34名が学び合いました。

JAと振興センターからは、収穫時期別の収量推移や収穫後期にかけての栽培管理のポイントをグラフや資料を用い説明し、技術向上を支援しました。

今後もJAと連携して、残りの7地区での現地検討会を順次開催していきます。